

第 9 グループ

令和 1 年度 第 2 回 議事録

【年間テーマ 抑制 1】

令和 1 年 8 月 10 日 提出

日付	令和 1 年 8 月 10 日 (土)			
場所	TKP 博多駅前筑紫口 ビジネスセンター 301		記録者名: 仙田	
出席者 (敬称略)	井上	仙田	村上	大野
	久保田	東中野	山下	伊藤
	矢田	横山	久保	
テーマ	抑制廃止に対する取り組み、ケアの工夫			
結論				
決定事項	年間計画			
備考				
次回討論項目	11/9 (土)			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)

病院、施設で困っていること

9月7日 議事録

NO.2

- 古い看護師の方が強くてなかなか意見が言えない
- 認知症の方に対峙対応
- 徘徊の方、ミトンの方、放声の方の対応
- スピークロックがタタ
- 人によって施設の色、統一した方向性のケアができない
- 医療度的に人員が少ない、業務量的に人が足りない
- センサー類を使っている人が数人いる中で外していくことが課題
- Ope後、寝たきり、回復期の方がいる中でPTにゆくり時間をかけて関係もない
- 認知症の人がタタの中でスタッフも足りず転倒リモタタく抑制の方モタタ、今後外していくことが課題
- 抑制(つなぎ)をFamに希望されることもある

年間テーマ 抑制廃止に対する取りくみ、ケアの工夫

患者優先に文対応していくことはわかっているがマンパワーも不足し業務もある中で外すタイミングが難しい

抑制をしたくてしているスタッフはおらず、わかっているけどというジレンマがある。
(倫理、患者様の立場に立ってといわれるが...)

家族・患者・看護・介護・医師との信頼関係が大カ

→抑制を行ふ、外すにしても。こまかいこともFamへ報告することも大カ。

抑制を外し転倒リモタタ骨折等したときにクレームにつながることもある。

Famが現状を理解していないこともある ←

マンパワーが不足している場合はハード面を整えることも大カではないか。